

最終レポート

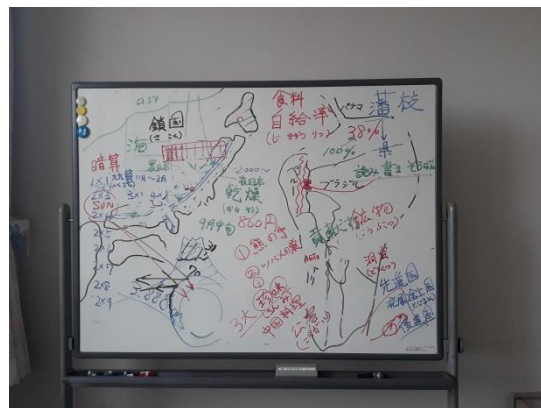
氏 名 島袋ベガ直美ファビオラ（ペルー）
研修機関 岡山県下水道公社
岡山県環境保全事業団
岡山県環境保健センター
研修内容 排水処理



岡山に着いて次の日にはすぐ研修が始まりました。アパートに入居したとき、部屋は小さく見えたが、一人で住むには十分な設備が整っていました。時差ぼけと戦い、暑い夏に徐々に慣れてきていた時だったので、オリエンテーションはめんどろに思いましたが、日本式の生活に慣れる必要があったため大変助かりました。バスに時刻どおりに乗車すること、指定日にゴミを出すことは特に始めは難しく感じましたが、岡山県国際交流協会の職員の指導のお陰で岡山での生活を楽しむことができました。

個人の日本語講座を約一ヶ月、月曜から土曜日まで受講しました。以前ペルーで日本語を勉強していたこともあり、先生は私に必要なことや私が既に知っていることに基づいて適切な内容を提供してくださったので、個人授業はとても有効でした。

授業について、小野先生が岡山大空襲の話を取り上げてくれたり、一緒に吉備津彦と温羅についての話を讀んだりし、とても興味深いと思いました。他の地域ではこのようなことを学ぶ機会を得ることがなかつただろうと思います。日本社会、政治や歴史などこの国について、その他多くの興味深い事柄について楽しく学ぶことが出来ました。唯一感じたことは、後に専門用語に苦労したので、先生方と技術研修の手引きや内容について事前に勉強できたらよかつたと思つたことです。



また、研修員月例会県内視察に参加しました。岡山中の色々な素晴らしい場所に私たちを連れて行ってくださり、岡崎さんと小田さんには大変感謝しています。ここで私たちは車を運転することは許されていなかったので、私たちではたどり着くことが出来な

いような場所へ連れて行ってくださいました。例えば、真庭市、招き猫美術館、犬島や備前市です。他の研修員と一緒に多くのワークショップに参加して楽しい時間を過ごし、岡山の緑豊かな風景も満喫しました。他の研修員とお互いの仲を深めながら岡山を理解することができ、県内視察は素晴らしいものでした。祝日や終末には近県を含め岡山の観光地を訪れる機会がありました。自力で日本を旅するのは今回が始めてであり、当初は時刻表や駅で路線の場所や出口などを理解することが少し難しく感じられました。日本は公共交通機関に関しては間違いなく素晴らしい国です。岡山では、後樂園、吉備津神社、最上稲荷、ペルーの家族や友人にたくさんお土産を買った倉敷市などを訪れました。広島や姫路や京都へも行きました。観光以外では、研修先から多くの資料を頂いた



ので、ほとんどの時間を手引きや研修内容について事前勉強することに費やしました。

研修プログラムについて、ペルーに関係のある問題となってきたので、私は排水処理について学ぶことを希望しました。日本は水質浄化方法について高度な技術を開発していることで広く知られていると思います。また、技術研修は下記に挙げる3ヶ所の違う施設で行なわれました。

1. 岡山県下水道公社
2. 岡山県環境保全事業団
3. 岡山県環境保健センター

研修は、排水処理の過程についてだけでなく、実験室分析に参加したり、環境保護の大切さについて学んだりすることができ、知識を深める経験でした。私が気付いた大変意味のあることは、日常生活における活動を通して自然を保護することを住民に啓発することです。また、日本の職場の様子を学ぶ機会もありました。日本の職場で人々は真面目（誰も誰とも話をしない点など）だというイメージがありましたが、間逆に変わり

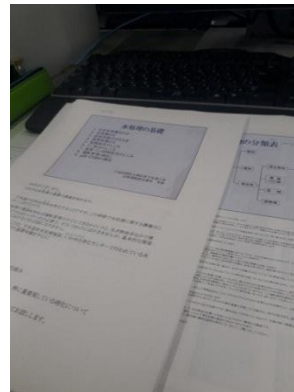
ました。3ヶ所の多くの職員は、多忙なスケジュールにも関わらず職場の雰囲気を楽しんでいるようでした。

私がそれぞれの研修先で、何をし、何を学んだかについて簡単にご説明しようと思います。

岡山県下水道公社

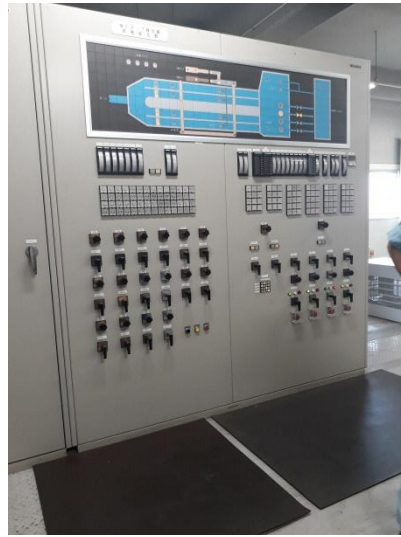
ここでは家庭排水浄化の基礎について学びました。児島湾は以前汚染されていたため日本政府は法律を作り、浄化するために動くほかありませんでした。ここでの研修は施設見学と、研究分析に参加すること、自主勉強の時間も含まれました。

初日は、オリエンテーションと、浄化センターがどのように業務を行なっているか理解するために、資料を勉強する時間が与えられました。幸運にも、子どもや一般向け（例：ドラえもんのパンフレットやビデオ）の資料がありました。それはおもしろそうに聞こえるかもしれませんが、下水道公社でどんな取組みをしているか、やさしい日本語で理解するのに役立ちました。日が経つにつれて、読むのが難しい専門的な内容の読み物を頂きました。しかしながら、皆さんの助けでよりよく理解することができました。



2週間で、施設だけでなく、水が適切に浄化されているかどうか、査定するために行なわれる実験分析も見学させていただきました。また、採水にも参加することができました。





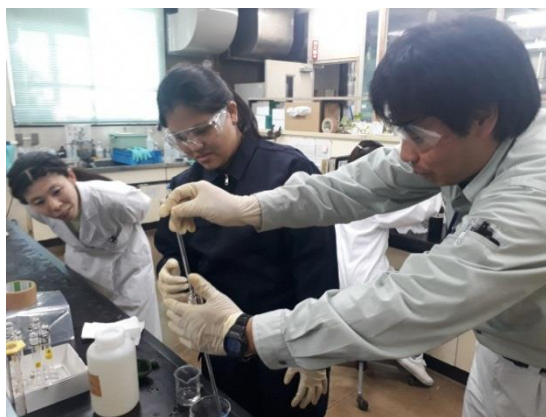
「ふれあいデー」という環境や自然をどのように守るか、また、家庭排水についてなどを住民に学んでもらうことを目的としたイベントのお手伝いもしました。子どものためのゲームや大人のためのアクティビティなどがありました。例えば、自転車をこいで発生するエネルギーを使って電球に明かりを灯す「省エネ」コーナーが設けられていました。他にも児島湾に生息する魚や、住民に水を浄化する（児島湾に排出する前）ことの重要性を示す展示も行なわれました。この日、環境保全に関係した数々の団体（岡山県下水道公社だけでなく、その他の2ヶ所の研修先も）の協働を見ることができ、とても素晴らしいものでした。



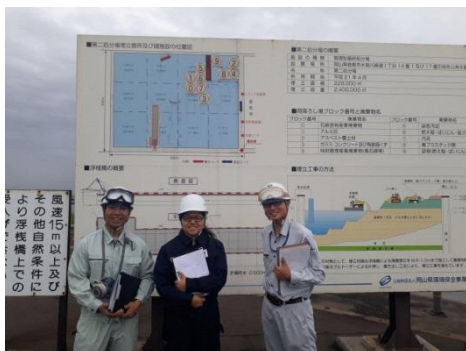
岡山県環境保全事業団

環境保全事業団では、環境や自然を守る目的の様々な施設を見学させていただきました。研修を受ける主な建物の他に、日常生活における環境影響の最小化を目的とした施設、環境保護について住民に啓発することを目的とした施設を見させていただきました。

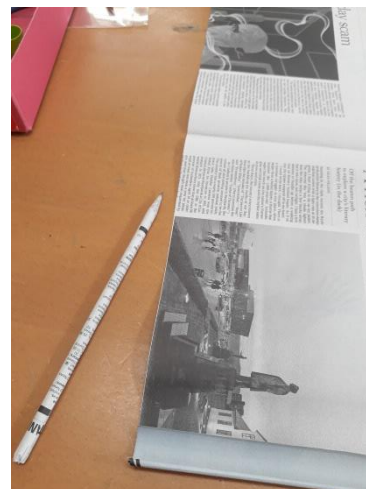
1. 環境調査部



2. 水島処分場 (水島処分場、排水処理施設、倉敷処分場、水島クリーンセンター)



3. アスエコ



4. 自然保護センター



5. 津山圏域クリーンセンター



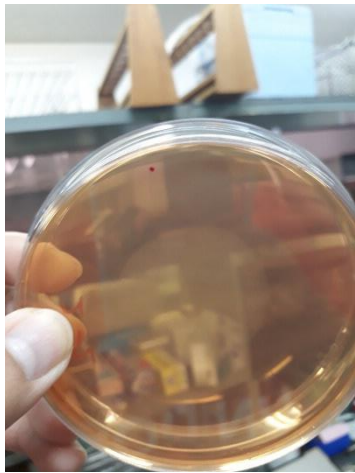
一般住民に環境に関する知識を促進する目的の施設があることは素晴らしい発想だと思います。自転車通勤など環境に配慮した行動をとっている職員に褒美を与えるといった、かんぽんポイントという制度も紹介していただきました。

岡山県環境保健センター

ここでは、彼らの日常業務である実験や測定について学び、ほとんどの時間を実験室で過ごしました。このような日々は私のリマでの生活と似ていたので、とても心地よく感じました。1日に1つの実験を行なったので、数多くの観察、実践的研究も私にとって適切なものでした。

水質科での研修内容

1. 大腸菌群数分析
2. 水中 COD (科学的酸素要求量) 分析
3. LC-MS (液体クロマトグラフィー質量分析法) での PFOS (ペルフルオロオクタンサルホン酸及びその塩) PFOA (ペルフルオロオクタン酸及びその塩) 分析
4. GC-MS (ガスクロマトグラフ装置) での農薬類分析
5. 児島湾で採集した数種類の水の COD (科学的酸素要求量) 分析



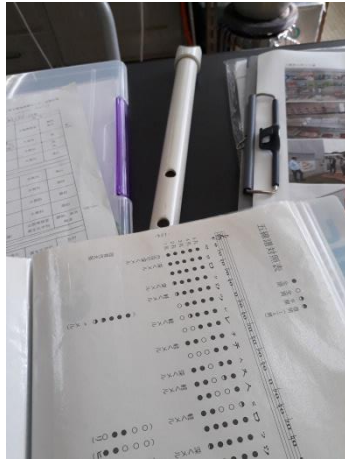
衛生化学科で研修内容

6. 食品検査業務での卵アレルギー測定
7. 国産、カナダ産大豆の DNA 抽出と検査

保健センターの職員の方々が和気ヤクルトセンターと大鵬薬品岡山工場への見学も計画してくださいました。ここでは、製造工程と工場で行なわれている品質評価を見学しました。ヤクルトとチオビタドリンクはペルーには輸出されていないので、それらについて学ぶことはとても興味深いものでした。



その他に、職員の趣味にまで参加する機会がありました。お昼休み（食事を食べ終えた後）は、多くの職員が散歩、ジョギング、杖道、卓球、尺八などをして過ごしていました。とても健康的で、日本文化（尺八を練習したとき）にも触れることができたのでとても楽しい時間でした。そのお陰もあり皆さんと仲良くすることが出来ました。



(研修先についての報告はこれで終わります。)

研修中、私の知らなかった数え切れないほどの専門用語が出てきたので、日本語に苦労しました。にもかかわらず、皆さんはとても親切で、何が行なわれているか理解できるよう、分かりやすく説明してくださいました。環境保全事業団では、ボランティア通訳の篠田さんが専門用語を理解するのを手助けしてくださいました。彼女の技術用語の日本語から英語への役は非常に素晴らしいものでした。彼女は実にプロフェッショナルだと感じました。

数ヶ月間、忙しくもとても充実した日程を過ごしたと感じます。家庭排水浄化の過程について、なぜ、どのように私たちは環境を守るのか、水質などの測定のためのどのような実験分析が行なわれているかを学びました。当初は大変でしたが、化学に関連した多くの技術用語を学ぶことができたと感じ、この経験は将来とても役に立つものだと捉えることが出来ました。自分の予算をやりくりしながら一人暮らすこと、日本中の知らない場所を自力で旅すること、駅の真ん中で迷子になること、他の経験も私にとって新しいものでした。このような経験を可能にしてくれ、私がより良い人物に成長していく手助けをしてくださった皆さんに大変感謝しています

ここで出会った方々に「ありがとうございました」と伝えたいです。